

# よしだ 議会だより

# 成人式 会場



第92号

吉田町議会

〒421-0395  
静岡県榛原郡吉田町住吉87  
TEL:0548-33-2141  
平成31年2月発行  
責任者 議長 八木 栄

平成30年第4回定例会

2P

一般質問 5人が町政を問う

4P

第17回議会報告会

9P

委員会報告

10P

町のボランティア団体紹介

11P

# 放課後児童クラブ建設事業費 などを増額

## 平成30年度一般会計補正予算（第2号）

歳入歳出予算を4,931万円増額補正し、  
歳入歳出それぞれ109億9,908万円とする。

主な歳出項目

- ・放課後児童クラブ建設事業費 2,402万円
- ・保育園管理費 447万円
- ・財政調整基金費 440万円

## 平成30年度一般会計補正予算（第3号）

歳入歳出予算を488万円増額補正し、  
歳入歳出それぞれ110億396万円とする。

12月3日から17日までの会期で開催され、補正予算4件、条例の改正3件、規約の変更1件を審議し全会一致で可決した。また、議員発議による要請書の提出1件についても可決した。

### 提出議案

#### 一般会計補正予算（第2号）

**問** **質疑**  
自彊小学校の放課後児童クラブの交通安全対策の確保は。

**答** 見通しが悪いが、完成後は良くなる。安全性の確保に学校教育課と協議して努める。

・国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）

・公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）

・一般会計補正予算（第3号）

・吉田町職員の給与に関する条例及び吉田町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正する条例の制定



自彊小学校区  
第2放課後児童クラブA・B（仮称）

・特別職の職員で常勤のもの給料等に関する条例の一部改正する条例の制定

・議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定

・榛原総合病院組合規約の一部を変更する規約について

・要請書の提出についての決議  
中央新幹線建設における大井川水系の水資源及び自然環境の保全に関する要請書

#### 【要請内容】

- 1 工事前、大井川の表流水及び地下水の水量、水質の保全等について万全な対策を図り、流域市町の住民生活の安全と安心を確保するとともに企業活動を含む経済活動に弊害がないよう配慮すること
- 2 工事前に南アルプスの生態系への影響を回避、低減する対策等を確実に実施すること
- 3 専門家の知見を踏まえ、工事中、工事完了後においても地元住民の安心を確保するよう努めること

#### 【提出先】

東海旅客鉄道株式会社

平成31年1月16日

本要請書を、島田市・掛川市など、大井川流域8市2町の議会議長連名で、東海旅客鉄道株式会社へ提出した。

# 新議長あいさつ

## 合議体としての議会運営を

議長 八木 栄

12月3日の定例会初日におきまして、前議長の議員辞職に伴い行われた議長選挙で、新たに議長に選出されました。

改めて重大な職責を感じております。

議員任期も残り5ヶ月弱ということもあり、限られた期間ではありますが、過去の議長経験を生かし、住民本位の議会であることを念頭に、議会という合議体を構成する11名の同僚議員の協力を仰ぎ、議会基本条例にのっとり、議会運営に努めてまいります。

また、当然のことながら、議会の活動を主宰し、議会を代表する者として、党派を考えず、中立・公平の立場からリーダーシップをとってまいります。

今後も、議会では、町民の福祉の向上と町の発展のため、懸命に努力してまいりますので、皆さまには、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます、あいさつとさせていただきます。



## 平成30年第2回臨時会 特別職の職員で常勤のものものの給料の減額に関する条例を制定

第2回臨時会は11月20日の1日間の会期で開催されました。

### 【議案】

特別職の職員で常勤のものものの給料の減額に関する条例

(町長の給料月額の減額)

第2条 町長の給料月額については平成30年12月1日から平成30年12月31日までの間、特別職給与条例第1条の規定にかかわらず、同条に掲げる額から当該額の100分の50に相当する額を減じて得た額とする。

### 【質疑】

問 住吉小学校の職員の公金横領事件など過去の事例を鑑みた上で、本件は町長一人の減給でよいのか。

答 事件当時いなかかった者に責任は問えない。

事務職員については、職務権限と

の関係によって責任が生じる。職員の配置や現金の取り扱いについての職務権限は職員にはない。その責任は、全て町長である私の責任である。

### 【問】

放課後児童クラブの人数が増えている。人数が増えれば未納者の数も増える可能性があるが、対策は。

答 滞納という状況を生まないように何ができるか、というところから研究しながら、その場に応じた適切な対応をしていくしかない。

### 【問】

職員の勤務の管理について対策は。勤務の環境については、従来の方法ではなく、現代に沿ったやり方も検討したい。

(全会一致で可決)

question

問

人口減少問題、今後の町への影響は

answer

答

少子高齢化がさらに急速に進行する

人口問題は、この町にとって中長期的に町民・町政にどのような影響を与えるのか。

また、親世代の人口増加施策や合計特殊出生率の施策の有効性、生涯未婚率低減対策の継続性を質問した。

**問** 吉田町の人口問題は、中長期的にどのような町民・町政に影響をおよぼすのか。

は、中長期的にどのような町民・町政に影響をおよぼすのか。

は、中長期的にどのような町民・町政に影響をおよぼすのか。

5地域コミュニティの機能低下

以上などを踏まえて、総合戦略を横断的かつ積極的に進めることにより、人口減少の影響を克服し、人口ビジョンに掲げた将来展望の実現を目指すと共に、あらゆる方面から、人口減少対策と定住人口の増加に向けた施策を進めていく。

**答** 一般的に地方公共団体や住民生活に与える具体的な影響として、次の5項目などが挙げられる。

1 税減収による行政サービス水準の低下

2 小売り、飲食、金融、医療機関などの生活関連サービスの縮小

3 公共交通の衰退

4 空き家、空き店舗、工場跡地、耕作放棄地などの増加

5 地域コミュニティの機能低下

・吉田町の将来推計人口

2015年	29,093人		
2020年	28,468人	2035年	25,764人
2025年	27,679人	2040年	24,609人
2030年	26,756人	2045年	23,379人

25年後は、現在より6000人弱減少する推計値

「日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計) 3 男女・年齢(5歳)階級別の推計結果一覧」(国立社会保障・人口問題研究所)を加工して作成

**問**

25歳から39歳の女性階層が少ないと、人口問題が論じられないが、増加施策は、

**答**

雇用の場の確保や交流人口の拡大など、移住・定住へとつながることや、子どもを持ちたいと思う女性を意識して、総合戦略の施策を展開している。

**問**

合計特殊出生率は、2.07人を目指しているが、直近のデータや施策の有効性は。

**答**

平成26年2月13日公表は1.73人で、全国で185番目、県内で5番目であった。安心と思いやりに



山口一博 議員

満ちた地域の中で、若い世代の子どもを持ちたい希望を叶えられ、温かい家庭を営むことができる環境を整備することが、重要である。

**問** 未婚率低減対策の継続性は。

未婚率低減対策の継続性は。

**答**

結婚や出産は個人の自由な決定に基づくものではあるが、婚活イベントなどの支援は、民間団体に補助金を側面支援している。また出産・子育て・住宅支援など生活支援を充実させ、結婚の希望や環境整備を進めている。

# 町政を問う

question

問

浜岡原発広域避難計画の実効性は

answer

答

不測の事態に備え、計画策定は必要

福島原発事故から7年が経過したが、いまだ5万人以上の人々が避難を余儀なくされている。国の原子力災害対策では、UPZ（原発から約30km圏内）の自治体は広域避難計画を策定することとされている。

問 浜岡原発で事故が

起こった場合、県内や群馬県に避難する計画となっているが、実効性のある計画を策定できるのか。

答 原子力災害が単独で発生した場合は富士宮市などへの避難、複合災害では群馬県へ避難していた。避難所の確保、避難ルートなど調整を図り、より実効性のある計画を策定していきたい。

問 過酷事故により放射

性物質が放出された場合、UPZ圏の人は屋内退避、毎時500マイクロシーベルトで避難開始となっているが、子どもたちを高濃度の放射線にさらす計画でいいのか。

答 放射線量が一定値以上となった区域から、国の指示により避難を開始することとなる。国の指針・県の計画に基づき計画を策定していく。

問 自治体の役割は、

事故に対応する避難計画ではなく、事故を未然に防ぐためにも、再稼働せず廃炉にすることだが。

答 想定される地震震源地の真上に位置し、絶対的安全性は確保できないと考え、廃炉にすべきである。町民の安全、安心を最優先にするという考えに変わりはない。稼働はしていないが放射性廃棄物は存在しており、有事に

問 茨城県東海第2原

発周辺6市村が締結した「事前了解権を含む新安全協定」と

備えて広域避難計画を策定することは必要と考える。

同様の協定が必要ではないか。

答 現時点では改めて新たな協定を中部電力(株)と結ぶ必要はないと考える。周辺4市の今後の在り方を注視していく。



静岡県が計画する避難先 (静岡県HP「浜岡地域原子力災害広域避難計画」から引用)



大石 巖 議員

question

問

シーガーデンシティ構想の実現は

answer

答

実現するために全身全霊を傾けたい

シーガーデンシティ構想と地方創生の成否は、わが町の将来を左右する。町長には達成するための資質と責任が求められる。

今後、どのように行政運営に当たっていくのか問う。

**問** 組織の機動力を生かす行政運営は。

**答** 市町村合併や東日本大震災における実践こそ、私がイメージしている姿である。即座に情報を収集し、首長としての大方針を決断。組織全体にその大方針を示して、柔軟な発想で必要な組織改編を行い、限られた組織力を十二分に発揮させていく。

**問** シーガーデンシティ構想を実現させ

**答** ことが町民の期待であり、町長の責任である。任期が終わるが所信を伺う。

**答** 当町にとり、先例もなく、他の自治体でも例を見ないこの取り組みを完成させるためには、私が貫いている行政スタイルを持続させる必要がある。町民の皆様のお許しを頂けるようであれば、今しばらく、この構想を実現するために全身全霊を傾けたい。

**問** 『産・学・民との協働(まちづくり公社、大学との連携事業等)』は。

**答** 激変する社会情勢の中で、組織内の限られた力だけで「より良い吉田町」を未来に引き継ぐことはできない。

「新たな魅力ある賑わいづくり」に着手するため、企業や民間団体などの参画も得ながら「吉田町まちづくり公社」を設立したほか、国や県などの「官」も加

**問** 財源確保による財政の健全化は。

え協働の動きを進めてきた。今後はこの手法をさらに拡大させていく。

**答** 国や県の補助事業採択を受ける努力を重ね、その上で、有利な起債を活用するなどの財政テクニクを駆使する手法を継続していく。財政の健全化を保ちながら、町のため、町民の皆さんのためになる事業をより早く、着実に実施していく。



大塚 邦子 議員



防潮堤川尻工区

# 町政を問う

question

問

ラーニングプラン、全体の総括は

answer

答

すべて結果が出たわけではない

全国学力・学習状況調査。平成29年度、小学校は国語・算数共、全国・県の平均正答率を上回った。中学校は全て下回った。平成30年度、小学校は理科、中学校は国語B以外は全て平均正答率を下回った。

**問** 吉田町ラーニングプランに費やした費用は。

**答** 全体で5989万1768円。

詳細は下表のとおりである。

**問** (株)ベネッセコーポレーションへの期待と成果に対する評価は。

**答** 期待したとおりの業務を実施したと考えている。

**問** 静岡大学の成果に対する評価は。

**答** 習熟度別授業の活用、特別支援教育の充実など、特性に

**答** 円滑な事業の実施、教職員の授業改善の意識の向上に寄与したと考えている。

**問** 教育委員会としての総括は。

**答** 全て当初思い描いたとおり進み、描いたとおりの結果が出たわけではない。

**問** 総論の分野ごとの取り組みの中、個々の対応の充実とは。

**答** 子どもの興味・関心をどれだけ引き出せるか、授業実績に基づいた授業の改善につなげていく。

**答** 円滑な事業の実施、教職員の授業改善の意識の向上に寄与したと考えている。

**問** ラーニングプランの結果に、子どもたちの個性、得意・できるなど、優位や有力な部分が見えない。

**答** 子どもの興味・関心をどれだけ引き出せるか、授業実績に基づいた授業の改善につなげていく。

**問**

「寄り添っていない」と感じた人がいた。現場が見えない。実際に行っているのは、先生であり、子どもであり、家庭である。その人たちが見えてこないが。

**答** 学校教育の主役は子どもである。教育委員会は子どもたちに直接手を差し伸べる仕組みになっていないが、先生方の働きやすい環境を整えることで子どもたちがより良く学べる環境を整えることが大切であると思っている。

ラーニングプランに費やした費用 (万円)

	26年度	27年度	28年度	29年度	合計
静岡大学	2,000	523	27	27	2,577
(株)ベネッセコーポレーション		532	639	767	1,939
講師謝礼金 印刷製本費など		136	660	675	1,472
合計	2,000	1,192	1,326	1,470	5,989

一般質問答弁から抜粋



山内 均 議員

question

### 問

## 吉田町中央公民館の駐車場整備は

answer

### 答

## 安全性と利便性を確保し検討する

町の社会教育施設の吉田町中央公民館、吉田町学習ホールは芸術文化活動に親しみ、楽しむことができる、町民にとって最も身近な施設であると考えます。この二つの社会教育施設の整備について質問した。

**問** 吉田町中央公民館

はリニューアルオープンから3年が経過したが、中央公民館1階ホール裏側の駐車場の整備の考えは、

**答** 約80平方メートル部分が未整備となつて残っている。

中央公民館が備えておくべき機能や役割といった全体的な観点から、本未整備部分をどのようにに活用していくことが、中央公民館の機能を最大限に発揮し、安全性と利便性



中央公民館ホール北側駐車場

**問** 障害者用の駐車場

が確保された施設となるのかという視点で、その在り方について検討していく。

**答** 中央公民館の正面

南側の出入口にスロープを設置しており、障害者の出入口として想定している。駐車スペースとして、役場庁舎西側の駐車場を利用していただくため、2台分の障害者用の駐車場の確保している。不便をおかけすることはないと考えている。

**問** 吉田町学習ホール

は昭和60年の建築から33年が経過している。改修計画についてどのような考えか。

**問** 吉田町学習ホール

建物内の設備について、転倒防止策などは行っているか。

**答** 建物本体に関しては早急に改修をする計画はない。しかし、ホール天井の落下防止対策は早急に対応すべき事項であると認識している。

来年度以降利用される方々からの意見を取り入れ、実施時期を検討し、調整が済み次第改修工事を実施していきたい。

**問** 施設内の設備の老

朽化については。

**答** 毎年定期的な保守点検を行っている。状況に応じて応急措置を心掛けていますが、必要に応じて更新をしていく。



議員 蒔田昌代



# ご意見を議会活動に生かします

議会基本条例に基づき、10月23日から26日まで町内4会場で議会報告会を開催しました。

町民107人の皆さんに参加いただき、議案審議と「治水対策の現状について」報告し、4グループに分かれて、テーブルを囲み意見交換を行いました。

今回は、町内会役員、消防団の皆さんに参加依頼致しました。

詳細については報告書を作成しましたので吉田町ホームページをご覧ください。

## 29年度一般会計決算、国保事業等特別会計決算

**問** 夏休み減のトリビンスプランはどのようになったか。

**答** T C P トリビンスプランは、長期休暇の短縮だけではないが、教育長の挨拶では、着実に実行すると述べた。

**問** ふるさと納税の返礼品は吉田町のものか。

**答** 八女市と交流を持っており八女市の特産品を扱った

が、国の指導で9月下旬から八女市の品物は扱わないこととした。

**問** 役場西側駐車場の迷惑駐車はどうかならないか。



川尻会館

**答** バスを利用する通勤者が駐車場に自家用車を止めているので注意しているが無くするのは難しい。町でも対策を考えている。

**問** 職員の残業の根本的解決策は。もっと職員を採用したらどうか。

**答** 職員定数が決まっている。保育士を増やした。

**問** 一般社団法人まちづくり公社は何を行っているのか。

**答** 町内、町外への情報発信の場で防災公園の管理やウオーキングイベントなどを行っている。

**問** 湯日川のわかば保育園の土手を住民が3・4回除草しているが、燃料費などの補助はないのか。



片岡会館

**答** 補助金はない。

県河川については、県及び町と住民とが連携して河川美化を行う、リバーフレンドシップ制度を活用する方法がある。

**問** 国保会計の不用額の内容は。

**答** 健診受診者数が見込み(予算)より少なかったためである。



住吉会館

「治水対策」について、出されたご意見

- ・降雨量に対する排水計画は未確定であるということですが、早急に計画を立てる必要があると思う。
- ・歴史的に洪水の町、吉田町が洪水の少ないのは行政が努力している事が分かりました。
- ・冠水地域の解消については明確な方針を聞き取った。
- ・水はけの悪い地区があり、対策を検討しているようですが、毎年このことなので早くやってほしい。



北区自彊館

# 「生活交通の確保」 視察・研修報告

## 総務文教常任委員会



視察・研修 西尾市

### 視察

三重県松阪市 平成30年11月5日  
愛知県西尾市 平成30年11月6日

視察先の状況は次のとおり

#### ○松阪市

コミュニティバス

#### 【導入の背景】

運行業者と行政および地域が協力して、「地域の協力と負担」を前提としたコミュニティバス導入した。

#### 【運行開始】

平成17年4月

#### 【目指すところ】

市民、事業者、行政が協働し、持続可能な地域公共交通の構築。

#### ○西尾市

コミュニティバス

#### 【導入の背景】

公共交通空白地（既存路線バス停から500m以上離れた地区）の解消。市街部の迂回路線の整備。

#### 【運行開始】

平成18年12月

### デマンド型 乗合タクシー

#### 【導入の背景】

・交通空白地の解消。  
・交通弱者のための交通機関。  
・利用者の移動の利便を考慮。

#### 【運行開始】

平成24年10月

委員長 山内 均

## 産業建設常任委員会調査報告

### 道路・河川及び都市公園の管理及び整備について

道路、河川及び都市公園の管理及び整備についての現状と改善策について調査・研究する。

10月1日

「都市公園の管理及び整備について」管理が不十分と思われる7公園の改善策などの当局回答を整理した。治水対策についての視察日程を決定した。  
11月13日～14日  
視察先は、神奈川県川崎市、千葉県鎌ヶ谷市  
・質問事項  
貴市が行っている治水対策について

10月5日

「都市公園の管理及び整備について」の間まとめを協議した。視察先への具体的な質問事項を決定した。  
○川崎市への質問  
・「雨水流出抑制施設の指導」について

・「川崎市治水対策検討委員会」について

・雨水浸透樹の補助金について

○鎌ヶ谷市への質問  
・「総合治水対策」について

「雨水浸透樹」について

11月13日～14日

川崎市と鎌ヶ谷市の視察を議員7名、事務局1名で行った。

・川崎市―急激な人口増加・市街地化に対応するため、雨水の許容放出量、単位洪水調節要領などの基準を設定し、「治水対策検討委員会」で推進している。

11月22日

・鎌ヶ谷市―急激な市街化に対応する流域治水対策として、流域水量を市内に貯留することにより家屋浸水被害がおおむね解消された。

「都市公園の管理及び整備について」の間まとめを協議した。視察報告の内容を協議した。

委員長 大石 巖

## 町のボランティア団体紹介

# かわしりっ子わんぱくサークル

平成16年結成。  
ボランティア登録数31人。

「かわしりっ子わんぱくサークル」の活動は年間5回。

さまざまな工夫を凝らしたイベントを実施し、なかには参加申し込みが100人を超えるものもある。

そんな人気のあるイベントを開催する同サークルの会長、酒井仁さんにお話を伺いました。



酒井 仁 会長

かわしりっ子わんぱくサークルには立ち上げから参加し14年経った今でもメンバーとして活動をしています。

これほど長く関わっていられたのは、子どもたちとの関わりが自分にとっても新鮮だったからだと思います。

イベントを実施するたびに、子どもの発想の豊かさに驚かされ、子どもの一生涯遊ぶ姿に思わず笑みがこぼれてしまいます。

また、保護者から「合宿やイベントに参加するようになって、子どもが成長した。ぜひ今後も活動を続けて欲しい」などの声を掛けていただくことがあります。

このような声がボランティアとしてのやりがいにつながっています。今後も地域の皆さんに協力をしていただき楽しく活動していきたいと思っています。



笹舟作り

### 活動計画

- 6月3日  
あつまれかわしりっ子まつり
- 7月28日  
吉田公園ミス터리ナイト  
ウォーク&花火大会
- 10月11日～13日  
かわしりっ子わんぱく宿  
(通学合宿)
- 12月8日  
川尻会館をクリスマスで飾っちゃおう
- 1月19日  
お正月だよ!かわしりっ子まつり



ニジマスを捕まえた



ヨーヨーを釣ろう

議会フェイスブックページから、議会情報の発信中。

こちらからどうぞ

<https://www.facebook.com/yoshidachougikaiict>

動画や写真のスライドショーなど、議会活動の様子をご覧ください、ご意見をお寄せください。



(QRコード)

## まちの話題



吉田町 駅伝大会



どんぐり教室の紙芝居(放課後子ども教室)



吉田消防団 出初式



盛土中の津波防潮堤

## 議会の傍聴においでください

平成31年第1回吉田町議会定例会は3月1日から開催予定です。

傍聴はどなたでもできます。当日に4階議会事務局で受付を済ませてから5階傍聴席にご入場ください。

お待ちしております。

お問い合わせ 議会事務局 33-2141

### あとがき

春の訪れと共に、平成の元号がカウントダウンの月日になってきました。

今年の節分の豆も、片掌ではこぼれてしまいう齢ですが、子どもの頃は近所の家を巡り、豆まき拾いに夢中になりましたが、いつの間にか風習がなくなり・・・



昭和生まれとして、新しくなる年号が三代目で、改元される二文字に夢や希望を乗せ、わくわくと楽しんでる時間が持てることは、初めての経験ではないのでしょうか。  
(K・Y)

### 議会広報特別委員会

委員長 三輪美由紀  
副委員長 山口一博  
委員 蔭田昌代

大石 巖  
三輪 正邦  
河原崎昇司